

顯現後第三主日（2026年1月25日）

※礼拝中に起立の部分がありますが、お体の悪い方はご無理をなさらず、着席のままで結構です。

開会の部

前 奏

初めの歌 ♪55 “したわしきイエスよ”(1~6 節)

み名による祝福～罪の告白～ゆるしの祈願 式文1ページ

詩編交誦 詩編27編

※別紙をご覧ください。

グロリア パトリ / キリエ

グロリア

みことばの部

祝福の挨拶

式文2ページ

式文3ページ

式文4ページ

主日の祈り

神様。世を照らす光として来られた御子をほめたたえます。

私たちが、罪と死の陰に覆われるとき、みことばの光によって、導き、
励ましてください。

救い主、主イエス・キリストによって祈ります。アーメン

| | | |
|--------|-----------------------|-------------|
| 第1朗読日課 | イザヤ書 8:23~9:3 | (旧約 1073 頁) |
| 第2朗読日課 | コリントの信徒への手紙1 1:10~18 | (新約 299 頁) |
| ハレルヤ唱 | | 式文 5 ページ |
| 福音書の朗読 | マタイによる福音書 4:12~23 | (新約 5 頁) |
| みことばの歌 | ♪290 “ガリラヤの風” (1~3 節) | |
| 説 教 | 『網を捨てて従う』 北川逸英師 | |
| 信仰の告白 | ニケア信条 | 式文6ページ |

奉獻の部

| | |
|------------------|----------|
| 祝福の挨拶～奉獻(献金)～奉獻唱 | 式文7ページ |
| 奉獻の祈り | 式文 8 ページ |

聖餐の部

| | |
|----------------------------|---------------------------|
| 聖餐の歌 | ♪260 “主イエス・キリストよ” (1~4 節) |
| 聖餐の序詞～サンクトゥス～設定 | 式文9ページ |
| 主の祈り | 式文10ページ |
| 平和の挨拶～アグヌス・ディ～聖餐への招きと陪餐の感謝 | 式文11ページ |

派遣の部

| | |
|------------------|-----------------------|
| 祝福の挨拶～ヌンク・ディミティス | 式文13ページ |
| 教会の祈り | 吉田岩雄 |
| 祝 福 | 式文14ページ |
| 終わりの歌 | ♪ 476 “わがゆく道” (1~2 節) |
| 後 奏 | |

日本ルーテル教団 飯能ルーテル教会
責任教職 高野公雄牧師

〒357-0033 埼玉県飯能市八幡町 20-9
電話/Fax 042-972-5774

Mail: nrkhanno1517@gmail.com HP: <https://kirakira2020.jp/>
Facebook: www.facebook.com/飯能ルーテル教会

しゅ ひかり すぐ だれ おそ
主はわたしの光、わたしの救い。わたしは誰を恐れよう。

しゅ いのち とりで だれ おそ
主はわたしの命の砦。わたしは誰を恐れよう。

ひとつのことを主に願い、それだけを求めよう。

いのち かぎ しゅ いえ やど しゅ あお のぞ 上ろこ え みや
命ある限り、主の家に宿り、主を仰ぎ望んで喜びを得、その宮で、

あさ むか
朝を迎えることを。

わざわ ひ かなら しゅ かりいお まく や おくふか
災いの日には必ず、主はわたしを仮庵にひそませ、幕屋の奥深くに

かく
隠してください。

いわ うえ た むら てき うえ あたま たか あ
岩の上に立たせ、群がる敵の上に頭を高く上げさせてください。

しゅ まく や
わたしは主の幕屋でいけにえをささげ、

かんせい しゅ む さん び うた
歓声をあげ、主に向かって讃美の歌をうたう。

しゅ さけ もと こえ き
主よ、叫び求めるわたしの声を聞き、

あわ こた
憐れんで、わたしに答えてください。

こころ しゅ まえ い かお たず もと
心よ、主はお前に言われる。「わたしの顔を尋ね求めよ。」

しゅ かお たず もと
主よ、わたしはみ顔を尋ね求めます。

しゅ かお かく いか しもべ しりぞ
主よ、み顔を隠すことなく、怒ることなく、あなたの僕を退けないで

ください。

たす
あなたはわたしの助け。

すく かみ はな
救いの神よ、わたしを離れないでください。

み す
わたしを見捨てないでください。

しゅ ひかり すぐ だれ おそ
主はわたしの光、わたしの救い。わたしは誰を恐れよう。

しゅ いのち とりで だれ おそ
主はわたしの命の砦。わたしは誰を恐れよう。

ひとつのことを主に願い、それだけを求めよう。

いのち かぎ しゅ いえ やど しゅ あお のぞ よろこ え みや
命ある限り、主の家に宿り、主を仰ぎ望んで喜びを得、その宮で、

あさ むか
朝を迎えることを。

わざわ ひ かなら しゅ かりいお まく や おくふか
災いの日には必ず、主はわたしを仮庵にひそませ、幕屋の奥深くに

かく
隠してください。

いわ うえ た むら てき うえ あたま たか あ
岩の上に立たせ、群がる敵の上に頭を高く上げさせてください。

しゅ まく や
わたしは主の幕屋でいけにえをささげ、

かんせい しゅ む さん び うた
歓声をあげ、主に向かって讃美の歌をうたう。

しゅ さけ もと こえ き
主よ、叫び求めるわたしの声を聞き、

あわ こた
憐れんで、わたしに答えてください。

こころ しゅ まえ い かお たず もと
心よ、主はお前に言われる。「わたしの顔を尋ね求めよ。」

しゅ かお たず もと
主よ、わたしはみ顔を尋ね求めます。

しゅ かお かく いか しもべ しりぞ
主よ、み顔を隠すことなく、怒ることなく、あなたの僕を退けないで

ください。

たす
あなたはわたしの助け。

すく かみ はな
救いの神よ、わたしを離れないでください。

み す
わたしを見捨てないでください。